

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 23 年 9 月 29 日 (2011.9.29)

【公開番号】特開 2011-130485 (P2011-130485A)  
 【公開日】平成 23 年 6 月 30 日 (2011.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-026  
 【出願番号】特願 2011-24511 (P2011-24511)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/167 (2011.01)

H 0 4 L 9/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/167 Z

H 0 4 L 9/00 6 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 15 日 (2011.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】受信装置及び受信方法ならびに送受信システム及び送受信方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スクランブルされた番組を受信する受信装置であって、  
スクランブルされた番組と、前記スクランブルされた番組のスクランブルを解くための  
鍵情報と、前記スクランブルされた番組についてスクランブルされたまま記録するかスク  
ランブルを解除してから記録するかを示す制御情報とを受信する受信手段と、  
前記スクランブルされた番組のスクランブルを前記鍵情報を用いて解除するデスクラン  
ブル手段と、  
前記受信手段で受信した番組、または、前記デスクランブル手段でデスクランブルした  
番組を記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生手段と、  
前記デスクランブル手段と前記記録再生手段とを制御する制御手段とを備え、  
前記制御手段における制御状態には、  
前記制御情報がスクランブルされたまま記録することを示しているときに、前記受信手  
段で受信したスクランブルされた番組を、前記記録再生手段においてデスクランブルする  
ことなく記録する第 1 の状態と、  
前記制御情報がスクランブルを解除してから記録することを示しているときに、前記デ  
スクランブル手段でデスクランブルした番組を前記記録再生手段において記録する第 2 の  
状態と、  
前記記録再生手段においてデスクランブルすることなく前記記録媒体に記録された番組  
を再生し、再生した該番組を前記デスクランブル手段でデスクランブルして出力する第 3  
の状態と、  
があることを特徴とする受信装置。

## 【請求項 2】

スクランブルされた番組を受信する受信装置における受信方法であって、  
スクランブルされた番組を受信するステップと、  
前記スクランブルされた番組のスクランブルを解くための鍵情報を受信するステップと  
、  
前記スクランブルされた番組についてスクランブルされたまま記録するかスクランブル  
を解除してから記録するかを示す制御情報を受信するステップと、  
受信した番組、または、前記鍵情報を用いてデスクランブルした番組を記録媒体に記録  
し、前記記録媒体から再生する記録再生ステップと、  
を備え、  
前記記録再生ステップは、  
前記制御情報がスクランブルされたまま記録することを示しているときに、受信したス  
クランブルされた番組をデスクランブルすることなく記録する第 1 の状態と、  
前記制御情報がスクランブルを解除してから記録することを示しているときに、デスク  
ランブルした番組を記録する第 2 の状態と、  
前記記録媒体にデスクランブルすることなく記録された番組を再生し、再生した該番組  
をデスクランブルして出力する第 3 の状態と、  
を有することを特徴とする受信方法。

## 【請求項 3】

番組を送信する送信系と、前記送信系から送信された番組を受信する受信系とからなる  
送受信システムであって、  
前記送信系は、  
番組をスクランブルするスクランブル手段と、  
前記スクランブル手段でスクランブルされた番組と、前記スクランブルされた番組のス  
クランブルを解除するための鍵情報と、前記受信系において前記スクランブルされた番組  
をスクランブルされたまま記録するかスクランブルを解除してから記録するかを示す制御  
情報とを送信する送信手段と、  
を備え、  
前記受信系は、  
前記スクランブルされた番組と、前記鍵情報と、前記制御情報とを受信する受信手段と  
、  
前記スクランブルされた番組のスクランブルを前記鍵情報を用いて解除するデスクラン  
ブル手段と、  
前記受信手段で受信した番組、または、前記デスクランブル手段でデスクランブルした  
番組を記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生手段と、  
前記デスクランブル手段と前記記録再生手段とを制御する制御手段と、  
を備え、  
前記制御手段における制御状態には、  
前記制御情報がスクランブルされたまま記録することを示しているときに、前記受信手  
段で受信したスクランブルされた番組を、前記記録再生手段においてデスクランブルする  
ことなく記録する第 1 の状態と、  
前記制御情報がスクランブルを解除してから記録することを示しているときに、前記デ  
スクランブル手段でデスクランブルした番組を前記記録再生手段において記録する第 2 の  
状態と、  
前記記録再生手段においてデスクランブルすることなく前記記録媒体に記録された番組  
を再生し、再生した該番組を、前記デスクランブル手段でデスクランブルして出力する第  
3 の状態と、  
があることを特徴とする送受信システム。

## 【請求項 4】

番組を送信する送信系と、前記送信系により送信された番組を受信する受信系とからな

る送受信システムにおける送受信方法であって、  
前記送信系は、  
番組をスクランブルするステップと、  
スクランブルされた番組を送信するステップと、  
前記スクランブルされた番組のスクランブルを解除するための鍵情報を送信するステップと、  
前記受信系において前記スクランブルされた番組をスクランブルされたまま記録するかスクランブルを解除してから記録するかを示す制御情報を送信するステップと、  
を備え、  
前記受信系は、  
前記スクランブルされた番組を受信するステップと、  
前記鍵情報を受信するステップと、  
前記制御情報を受信するステップと、  
受信した番組、または、前記鍵情報を用いてデスクランブルした番組を記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生ステップと、  
を備え、  
前記記録再生ステップは、  
前記制御情報がスクランブルされたまま記録することを示しているときに、受信したスクランブルされた番組をデスクランブルすることなく記録する第1の状態と、  
前記制御情報がスクランブルを解除してから記録することを示しているときに、デスクランブルした番組を記録する第2の状態と、  
前記記録媒体にデスクランブルすることなく記録された番組を再生し、再生した該番組をデスクランブルして出力する第3の状態と、  
を有することを特徴とする送受信方法。